

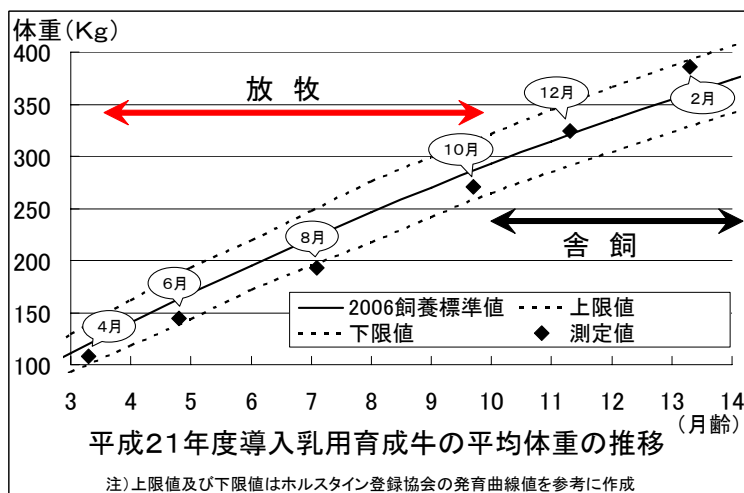
間もなく1年 大きく成長した乳用育成牛

－ 3月から和牛受精卵の移植を開始します－

昨年4月に農家から月齢3か月、体重110kg、体高95cm程度で導入した乳用育成素牛21頭は、当場に来て間もなく1年を迎えようとしています。春から秋にかけて緑一杯の放牧場で足腰を鍛え、冬に牛舎に戻ってからは、当場産の牧草サイレージ(発酵飼料)を腹一杯食べ、体重350kg、体高125cmの種付基準を超える良好な発育をしています。3月から和牛受精卵の移植を開始し、早期受胎に努めます。



牧草をしっかり食い込んでお腹が大きく膨れた育成牛



畜産センター
碓高原牧場